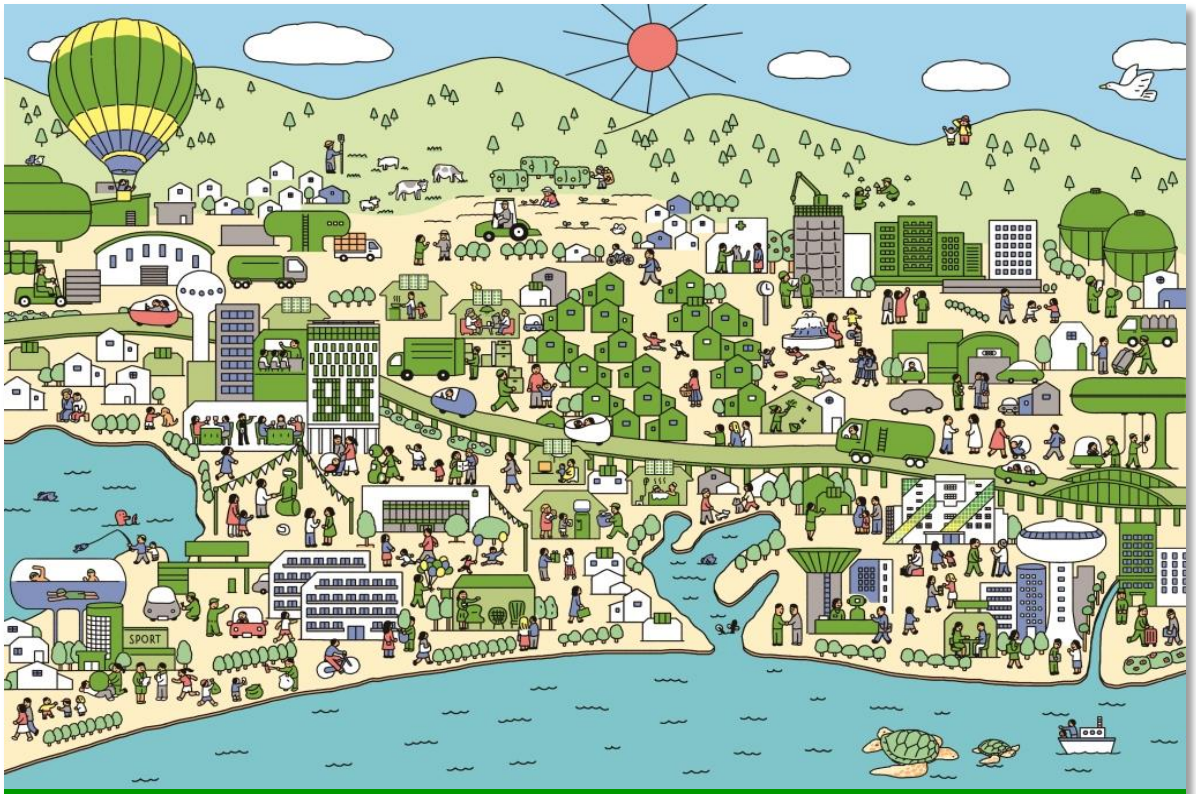
2017年11月期 第2四半期の概況

2016年12月1日～2017年5月31日



私のまちにはSALAがある ～暮らしとエネルギーのSALAへ～

sala
SALA GROUP

2017年 7月

株式会社サーラコーポレーション

2017年11月期
第2四半期の業績について

SALA GROUP

2017年11月期第2四半期(2016年12月1日～2017年5月31日)の連結及びセグメント別の業績

経営統合により増収増益を実現
主要事業は概ね順調に推移

- 2016年７月の経営統合（中部瓦斯株式会社及びサーラ住宅株式会社を株式交換により完全子会社化）に伴い、両社並びにその子会社の実績が加わったことにより、売上高、利益ともに大幅に増加
- 主要事業は概ね順調に推移

(億円)

項目	16年11月期第2四半期 (15年12月～16年5月)	17年11月期第2四半期 (16年12月～17年5月)	増減率(%)
売上高	650	**1,057**	**62.6%**
営業利益	34	**58**	**71.1%**
経常利益	35	**60**	**69.0%**
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	**40**	**76.7%**
1株当たり四半期純利益（円）	58.88	**75.16**	**27.6%**

2017年11月期第2四半期　業績増減要因

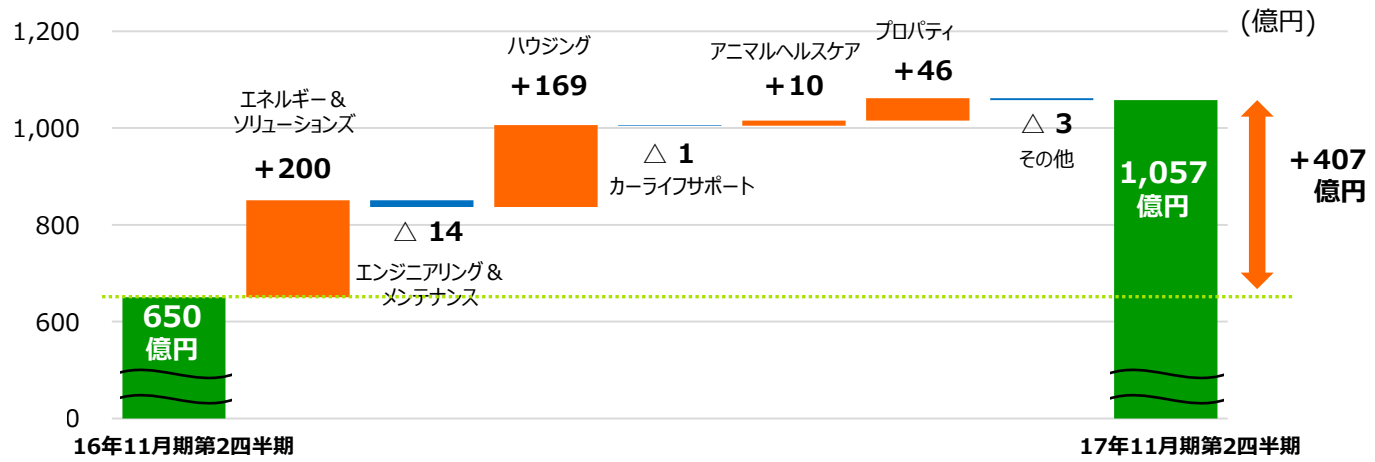
売上高

16年11月期第2四半期

650億円

17年11月期第2四半期

1,057億円



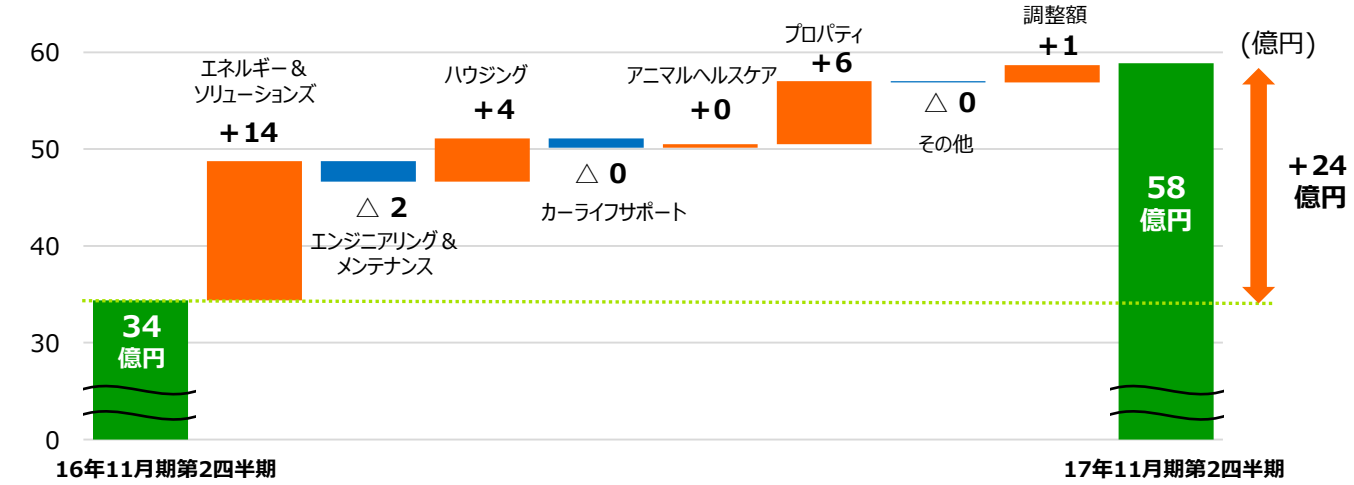
営業利益

16年11月期第2四半期

34億円

17年11月期第2四半期

58億円



2017年11月期第2四半期　連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書

資産・負債・純資産・自己資本比率の増減

(億円)

項目	16年11月30日	17年5月31日	増減	増減要因
資産	1,713	**1,699**	△ 13	仕掛品、商品及び製品の減少、有形固定資産の増加
負債	1,257	**1,207**	△ 50	短期借入金、賞与引当金、支払手形及び買掛金の減少
純資産	455	**492**	＋37	利益剰余金の増加
自己資本比率(%)	26.0	**28.4**	＋2.4	

キャッシュ・フローの増減

(億円)

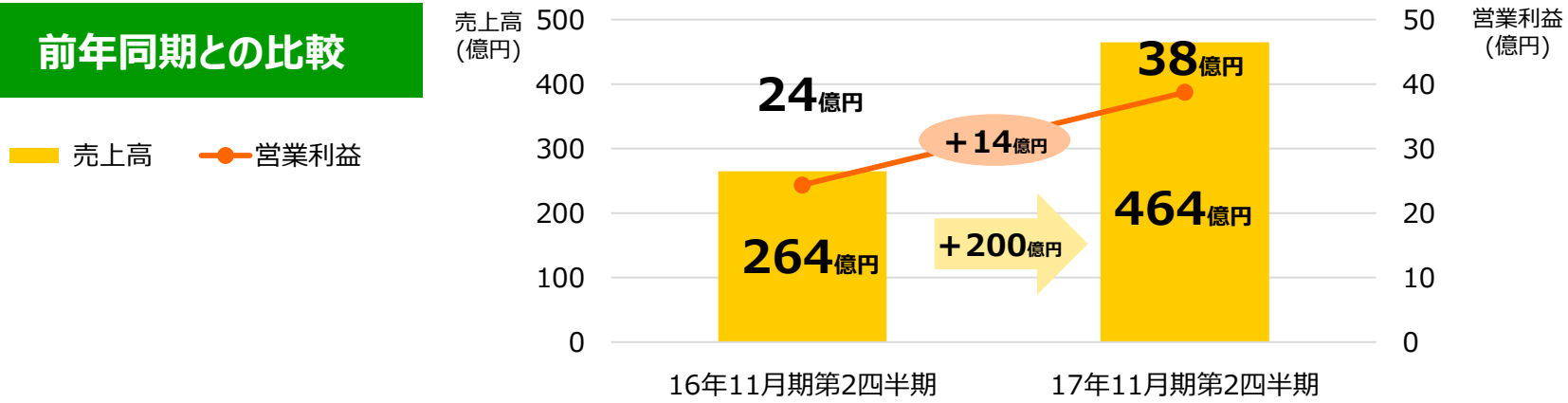
項目	16年11月期第2四半期 (15年12月～16年5月)	17年11月期第2四半期 (16年12月～17年5月)
営業活動によるキャッシュ・フロー	31	**79**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10	△ **49**
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 12	△ **22**

エネルギー＆ソリューションズ事業の概況

- 売上高、営業利益は中部瓦斯株式会社を子会社化したことに伴い、同社並びにその子会社の実績が加わったことにより、大幅に増加
- お客さま基盤をさらに確固たるものにするため、都市ガス部門は大口取引先の獲得並びに販売量の増加に、またＬＰガス部門は家庭用戸建て住宅のお客さまの獲得に重点的に取り組む
- 需要期である冬期の平均気温が前年同期を下回ったことや、取引先である工場の稼働率向上などにより、都市ガス、ＬＰガスともに販売量は増加

都市ガスセット割プラン「マイオプションG」 2017年4月スタート

前年同期との比較

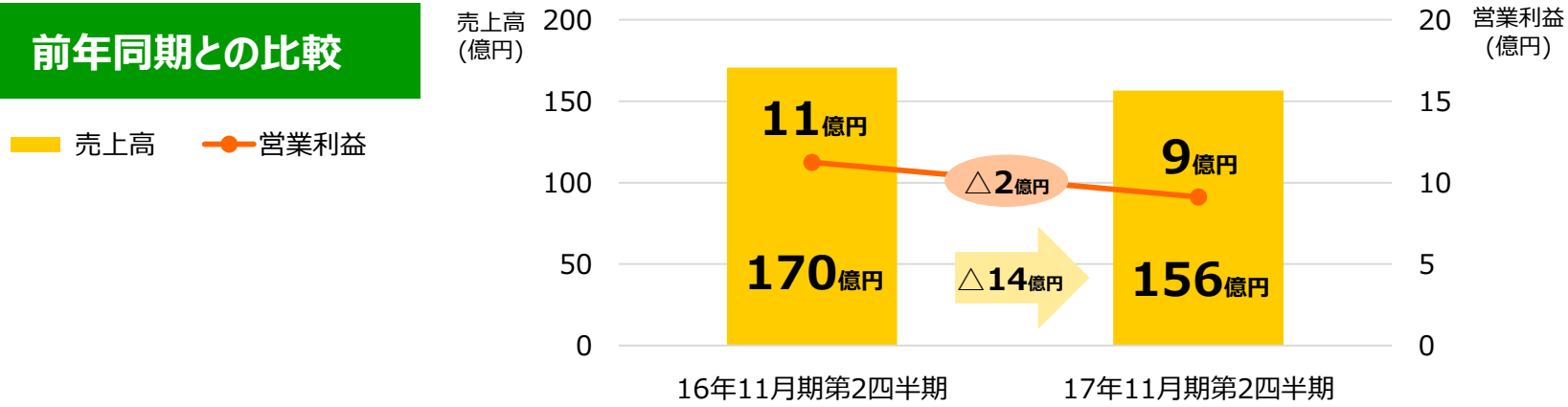


エンジニアリング＆メンテナンス事業の概況

- 建築部門においてこれまで受注した大型物件の完成工事が増加したものの、土木、設備の両部門においては大型物件が減少したことにより、売上高は減少
- 売上高の減少に加え、土木部門における厳しい受注環境が影響し、利益率が低下したことから、営業利益は減少

三河港神野地区の岸壁工事

前年同期との比較

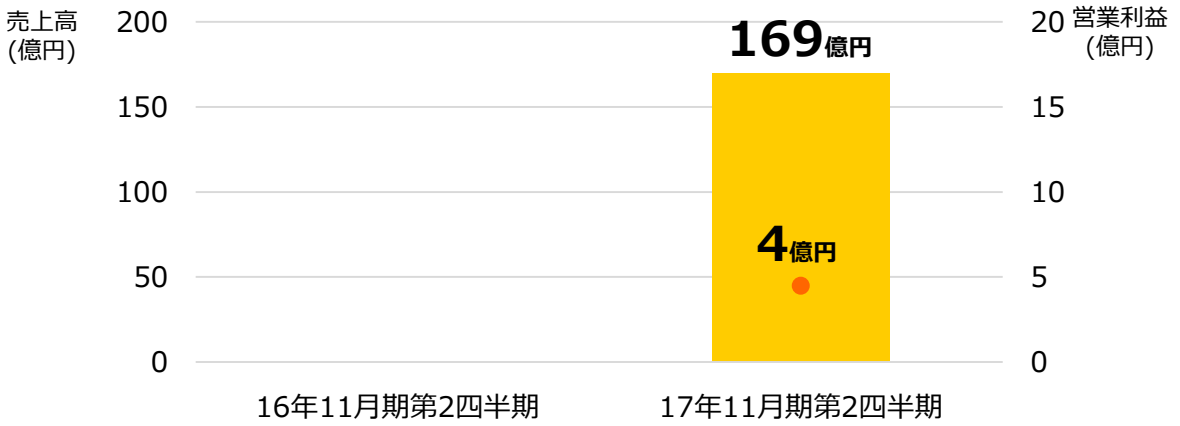


ハウジング事業の概況

- 2016年7月の経営統合により新たに設置されたセグメント
- 住宅販売部門は、分譲住宅において壁外断熱を採用した高付加価値商品の販売を強化したことにより、堅調に推移
- 住宅部資材加工・販売部門は、主要事業エリアである愛知県などにおける住宅販売の市況が良好であり、大口取引先からの受注が増加したため、好調に推移

最高の空気品質の家「Best-air」を採用した大府展示場
2017年5月リニューアルオープン

前年同期との比較

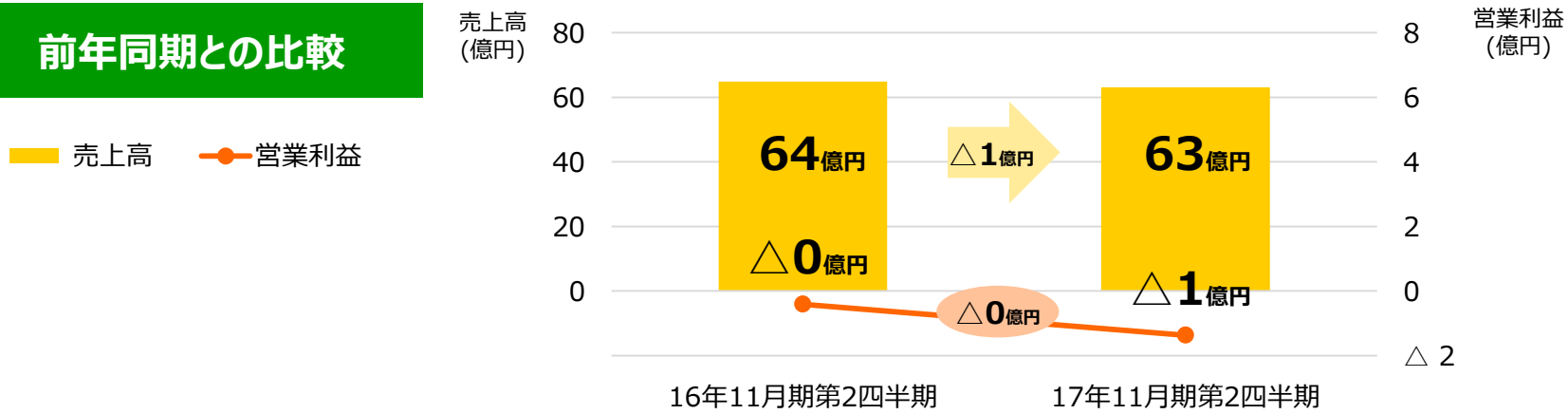


カーライフサポート事業の概況

- 独フォルクスワーゲン社の排ガス不正問題の影響が残るなか、既存ユーザーに対する販売活動の強化や、中古車販売の新店舗開設による中古車部門の拡充、経費削減等に取り組んだものの、輸入車販売部門におけるフォルクスワーゲンの販売台数の落ち込みが響き、売上高は減少し、営業損失を計上

フォルクスワーゲン岡崎認定中古車センター　2017年5月新規オープン

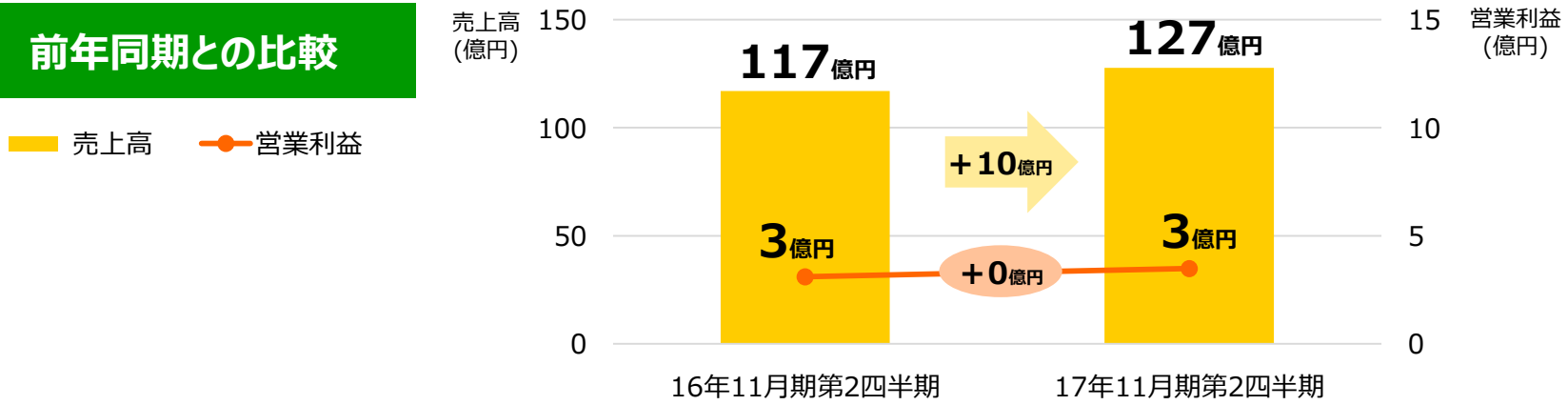
前年同期との比較



アニマルヘルスケア事業の概況

- 畜産部門は食肉の市況価格が高値を維持したため、動物用医薬品の販売が好調に推移
- ペット関連部門は、新商品の拡販に積極的に取り組んだことにより、好調に推移

前年同期との比較

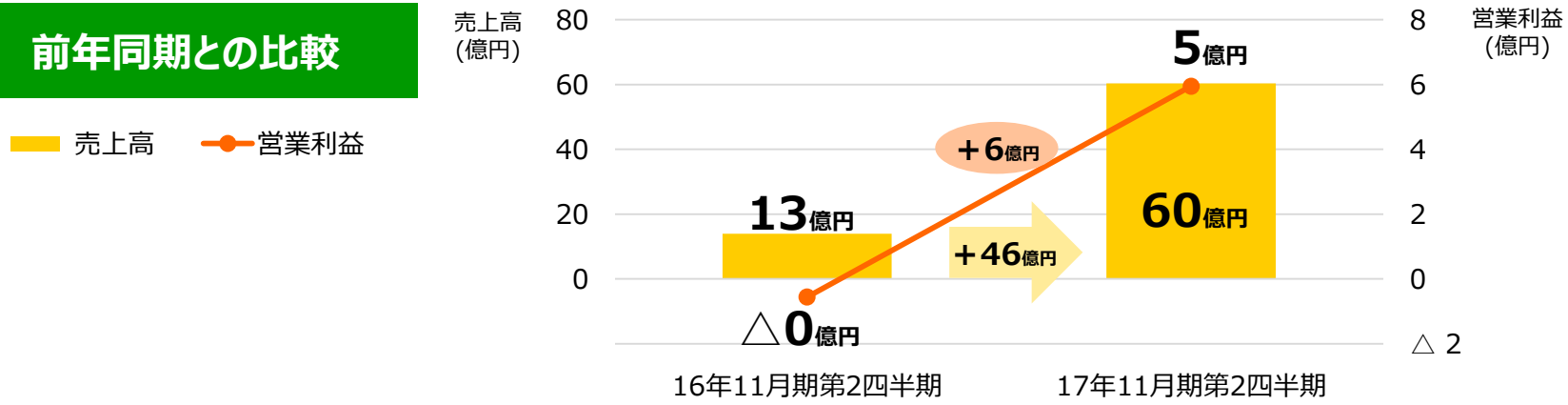


プロパティ事業の概況

- 売上高、営業利益は報告セグメントの変更により、前年同期のホスピタリティ事業の実績に不動産事業の実績が加わり、大幅に増加
- 不動産事業は、2017年３月に完成した分譲マンションの販売が順調に推移
- ホテルアークリッシュ豊橋などホスピタリティ部門の売上は、前年同期並み

「ココラハウス駅前大通三丁目」イメージパース

前年同期との比較



2017年11月期　通期業績予想（修正）

SALA GROUP

● 第2四半期の実績を踏まえ、通期の連結業績予想を上方修正

営業利益48億円（+5億円）、経常利益50億円（+6億円）、親会社株主に帰属する当期純利益30億円（+3億円）

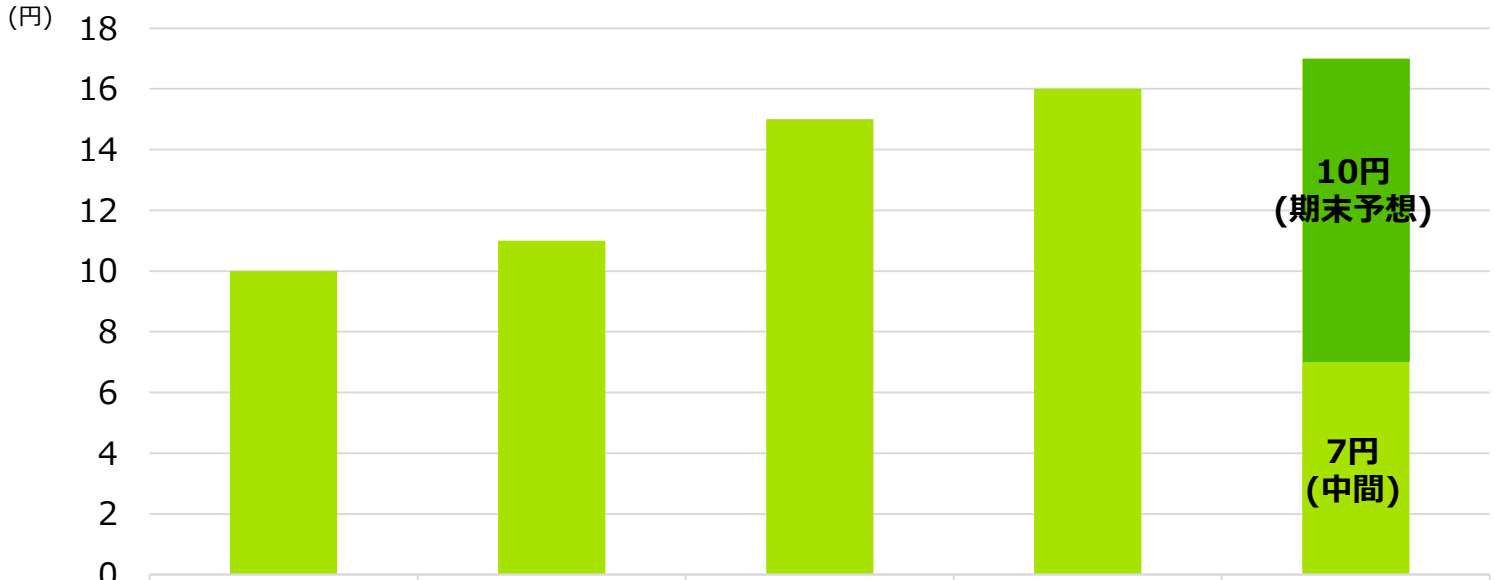
通期業績

(億円)

項目	16年11月期 通期実績	17年11月期 当初通期業績予想	17年11月期 修正通期業績予想	対当初業績予想 増減額
売上高	1,489	**2,000**	**2,000**	－
営業利益	25	**43**	**48**	+5
経常利益	30	**43**	**50**	+6
親会社株主に帰属する当期純利益	79	**26**	**30**	+3
1株当たり当期純利益（円）	177.63	**49.78**	**56.35**	+6.57

2017年11月期　配当予想（修正）

- 中間配当は当初予想どおりの7円
- 第2四半期の実績を踏まえ、期末の配当予想を10円（+2円）に修正、4年連続の増配を見込む



	13年	14年	15年	16年 ※1	17年
年間配当金	10	11	15	16	17 (予想)

※1 サーラグループ再編を記念する記念配当2円を含む

第3次サーラグループ中期経営計画の取り組みについて

第3次サーラグループ中期経営計画の概要と2017年11月期第2四半期の取り組み状況

私のまちにはSALAがある

～暮らしとエネルギーのSALAへ～

お客さまに対して商品・サービス、お客さま窓口の名称をSALAに統一してサービス体制から事業展開、組織運営に至るまで徹底してお客さま起点に見直し、「暮らしとエネルギーのSALA」として地域に広く浸透することを目指す。

既存事業の強化は、これまでの達成状況に応じて新たな目標を設定し、これまでの枠組みではできなかった方法も加えて継続して取り組み、今後も成長していける基盤を確固たるものにする。

	第1次 (サーラコーポレーション第4次) 2011年～2013年	第2次 (サーラコーポレーション第5次) 2014年～2016年	**第3次 2017年～2019年**	第4次～ 2020年～
長期目標	**次なる時代の成長を見据えた基盤づくり**			「私のまちにSALA、暮らしとともにSALA」の実現
方針・テーマ	グループの新たなる挑戦	魅力あるグループへ	**私のまちにはSALAがある ～暮らしとエネルギーのSALAへ～**	
中心課題	グループ一体化による社内基盤の整備	整備した基盤を活かした顧客対応力の強化	**新たな成長を可能にする基盤づくり (エネルギー事業の再構築、 SALAの浸透)**	

第3次グループ中期経営計画の概要

お客さま区分ごとにニーズを見極め、
お客さまにとって価値あるメニューを、お客さまにとってベストなプロセスで提供

地域にお住まいのお客さま

お客さまとの接点
(店舗／WEB／担当者)

産業用のお客さま

営業担当者(各社)
スペシャリスト

サービスプラットフォーム(サーラクラブ)

事業プラットフォーム

統合システム／SFA／共通マーケティング機能

お客さま情報　取引情報
建物/設備情報　接点履歴情報

エネルギー(ガス／電気)

豊かな暮らし
ホテル・飲食
宅配水
保険
アニマルヘルス
(動物医薬・療法食)
リフォーム
住まい
(購入/賃貸)
カーライフ

魅力ある“まち”
建築
設備
社会インフラ整備

地域企業の発展寄与
土木
エンジニアリング
機器
メンテナンス

毎日の暮らしをトータルにサポートするため、グループの各事業と連携して、サービスメニューの充実と地域拠点におけるライフスタイルの発信を推進

サービスメニューの充実

- 17年4月より、都市ガスセット割プラン「マイオプションG」のサービスを開始
- ガス、電気にサーラの商品・サービスをプラスし、お客さまの豊かで快適な暮らしを提案

地域拠点「サーラプラザ」の展開

- 地域に密着した暮らしの総合サポートの発信基地として12店舗を展開
- 17年4月にオープンした最新拠点「サーラプラザ佐鳴台」では、“もうひとつのリビングルーム”をコンセプトに新たなライフスタイルを提案

「サーラプラザ佐鳴台」外観

2017年11月期第2四半期の取り組み (プロパティ事業)

豊橋市の中心市街地において資産価値向上、まちのにぎわいづくりを推進

- 「豊市」「豊市パン」のプロデュース、分譲マンション「ココラハウス駅前大通三丁目」販売開始
- 豊橋駅前大通二丁目地区にて再開発事業を進行中

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている数値計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先

株式会社サーラコーポレーション　総務部　総務グループ
TEL：0532-51-1182　　FAX：0532-51-1154